

活動レポート

倫理委員会

文責：倫理委員会 幹事 佐藤 勉

令和 3 年度第 1 回研究 WG 活動報告

はじめに

倫理委員会では、令和 3 年 11 月 15 日(月)に令和 3 年度第 1 回倫理委員会研究 WG(会場出席者 15 名、Web 参加 3 名)を、かでの 2・7/730 研修室(会議室定員 42 名)にて開催いたしましたので報告いたします。

1. 令和 3 年度第 1 回研究 WG

(1)技術者倫理の教育現場報告

富澤倫理委員長が JABEE 教育の現状について報告しました。JABEE 認定制度は、国際的に通用する技術者の育成を目的とした教育で、認定プログラムとして技術者倫理教育があります。

技術者倫理教育のカリキュラムは、1)技術倫理教育の基本、2)技術倫理規定の概論、3)倫理の原点、4)技術倫理問題の解決手法、5)技術倫理テーマの実事例検討、6)倫理的判断力、7)コンプライアンス、8)トレードオフ、9)技術倫理教育総括、10)事例研究(特許のコピー、研究不正 STAP 細胞など)となっています。

講義では、「自律」と「自立」の違いについても学んでいきます。「自律」の定義は、他からの支配や制約などを受けずに自分自身で立てた規則に従って行動する。一方「自立」の定義は、他からの従属から離れ独り立ちする事で、他からの支配や援助を受けずに存在する。つまり、社会生活上、どちらも大事ではあるが、『技術者倫理では自らを律する行動「自律」を重視する。』と倫理の基本的な考え方を理解して行きます。また、真の技術者とは「技術的知識ではなく、実践力・判断力・選択力・解釈力・適応力が必要となる」と教えています。

(2)倫理委員会の運営方針

令和 3 年 4 月から「まん延防止等重点措置」や「緊

急事態宣言」と、新型コロナウイルス感染症対策が行われ、倫理委員会の研究 WG の中止が続きました。今後も新型コロナウイルス感染症対策の長期化が予測されているため、新たな運営方法について協議しました。

令和 4 年度からは、定例会を WG に細分化し、年一度大きな会議室を用意して全員が集まり、各 WG の研究結果について発表する新たな運営方法を実施します。WG については、リモートを取り入れる事や、少人数にすることで発言しやすく活発な意見交換が期待できるのが特徴です。

(3)技術士全国大会技術者倫理情報連絡会

技術者倫理情報連絡会において、北海道本部倫理委員会の活動報告を予定しています。1)定例会について：事例研究を基に技術者倫理について意見交換を実施。2)第 10 回技術者倫理フォーラムの紹介：基調講演として「技術者倫理の実践」日本技術士会登録技術者倫理研究会代表の橋本義平技術士による講演。3)旭川高専技術者倫理共同授業について：与えられた事例について「予防倫理」、「内部告発」、「ヒューマンエラーと安全対策」を倫理委員会の技術士とグループ討議を実施。

おわりに

新型コロナウイルスの感染者数について世界と比べると、日本の感染者は極端に少ない状況です。確かに、日本人は清潔レベルが高くマスクの習慣もある事が一つの要因であります。やはり日本人に備わっている「他人に迷惑をかけない」という倫理観が感染拡大を抑えていると感じます。

技術者倫理について倫理委員会のメンバーとの意見交換を通じて深く考えてみませんか？皆さんの参加をお待ちしております。